

★ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)

専門委員長 井上智雄 副委員長 林 勇吾・神田智子

幹事 渡邊伸行・吉田 悠・藤原 健 幹事補佐 寺田和憲・木村 敦・黄 宏軒・飯塚重善・小森政嗣・高嶋和毅

日時 3月15日(月) 9:50~16:40

16日(火) 10:00~18:00

会場 オンライン開催

議題 コロナ禍におけるコミュニケーション, 及び一般

15日午前 (10:00~11:30)

1. 新型コロナウイルス感染症流行におけるスマートフォンの利用実態並びにスマートフォン嗜癖への影響
○小林 直・三宅佑果・畑川養幸 (KDDI)・浜村俊傑・本庄 勝 (KDDI 総合研究所)・岡 大樹・千葉俊周 (ATR)
2. 新型コロナ禍における大学生の大学適応感とコミュニケーション満足度の関連の検討
○牧野裕子・中山満子 (奈良女子大)
3. 大学生のTwitterとゲームの利用に関する研究—ネット上の行動内容から— ○坪井 樹・叶 少瑜 (筑波大)

15日午後 招待講演 (12:00~13:00)

4. [招待講演] 新型コロナウイルスを機に始まったオンライン教育—教えあい学びあうリモートキャンパス—
○永田 聡・柴田直樹 (リモキャン)

(13:20~14:50)

5. クラスディスカッションで学生の関与を増やすための試行的な取り組み—対面クラスとオンラインクラスを比較して— 山中隆史 (香川大)
6. 田舎暮らしと研究会活動—超低雑音環境の重要性— 得丸久文 (著述業)
7. ケーススタディ: 対面と遠隔参加者が混在する映像会議における議論の特徴
○中野希海・徳永弘子・武川直樹 (東京電機大)

(15:10~16:40)

8. オンラインイベントでのグラフィックレコーディングの試み—レコーダーの取り組み方に着目した分析—
飯塚重善 (神奈川大)
9. エンドユーザのための個人適応エージェント対話フレームワークの開発
○陳 思楠・佐伯幸郎・中村匡秀 (神戸大)
10. 在宅高齢者を対象とした「こころ」の見守りサービスの運用と品質評価
○三浦雅咲・佐伯幸郎・中村匡秀 (神戸大)・安田 清 (阪工大)

16日午前 (10:00~11:30)

1. 足の能動的・受動的な運動がVR酔いに及ぼす影響の実験による検証
○劉 明韜・田野俊一・橋山智訓・大塚康平 (電通大)
2. フィットの法則の3次元・動体ターゲットへの拡張とVR環境での検証・修正
○伊藤駿介・田野俊一・橋山智訓 (電通大)
3. 変化点検知を活用した顔特徴量時系列データからの注目点の抽出 ○平山孝輔・佐伯幸郎・中村匡秀 (神戸大)

16日午後 (12:50~18:00)

4. コロナ禍における孤独—第一次緊急事態宣言下におけるパネル調査—
○高橋英之・伴 碧・石黒 浩 (阪大)・近江奈帆子 (ダイキン工業)
5. 新型コロナウイルス感染症に対する学長のメッセージの分析—学長のリーダーシップと危機管理の視点から—
○渋井 進・赤川裕美 (大学改革支援・学位授与機構)
6. 多元的無知がうわさの伝達に及ぼす影響—コロナ禍におけるトイレトペーパーの買い占め行動に関連して—
○梅元菜月保・正田 悠 (神戸大)
7. 大学生の緊急事態宣言発令後の余暇活動と対人コミュニケーションに関する研究
○村山利輝・叶 少瑜 (筑波大)
8. 職場におけるフリーライダー問題—初対面時の印象とその判断— ○小松崎 航・高木幸子 (常磐大)
9. オンライン共食における食事の異同が会話行動と食事行動に与える影響
○久保田 将・Wang Jui-Ying・張何健鵬・孫 博焜・井上智雄 (筑波大)
10. 二値と多値を想定する言語表現—「何なら」の典型用法と新用法の記述的考察— 坂本暁彦 (東京電機大)
11. プーバ/キキ効果は絵に表出されるか—描画課題を用いて創造された絵と音韻的特徴との関連性の分析—
○石川知夏・小林哲生 (NTT)
12. 絵本の表紙画像に対する視覚的特徴に基づく選好予測
○森 稔 (神奈川工科大)・服部正嗣・小林哲生 (NTT)

【問合先】

HCS 研究会幹事団

E-mail : hcs-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は、HCS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~hcs/>